

もの忘れ外来のご案内

こころと身体のリハビリテーション

日々の生活の中で「もの忘れ」は誰にでもあることです

もの忘れには

加齢によるもの

病気によるもの



大きく2つありますが、加齢によるもの忘れと認知症は大きく違います。

「もの忘れ」は認知症の代表的な症状の一つであり、早期に発見し、適切な治療を受ける事が非常に大切になります。

「もしかしたら・・・??」と

ご自身やご家族に何か思い当たる症状がある場合は早めの受診をおすすめします。

ご自身やご家族にこんな**症状**はありませんか？

- 料理、片付け、運転ミスが多くなった
- 同じことを何度も話したり、尋ねるようになった
- 落ち着きがなくなり、ささいなことで怒るようになった
- 読み書きやお金の計算ができなくなった
- 友人や知人との大切な約束をすっぴかした
- 薬の飲み忘れや飲んだかどうか分からなくなる事がある
- 身だしなみや身の回りのことを構わなくなった
- ニュースなど周りの出来事に興味や関心がなくなってきた
- 意欲がなく趣味や好きな活動をやめた
- 人付き合いを避けるようになってきた
- 道に迷った事があった
- 転びやすくなってきた
- 食欲低下や偏食が多くなってきた など



日本認知症学会認定 認知症専門医による

もの忘れ外来 診療のご案内

受診の
ご案内



もの忘れ外来では からだ 心と身体 からだ の健康チェックを行っております。受診希望や詳しくお知りになりたい方はお問い合わせください。

受診日調整

※直接の来院はお控えください

①お電話で「もの忘れ外来の相談」とお申し付けください。相談窓口は「地域連携室」になります。

☎098 (982) 1777

②もの忘れ外来受診

受診の際は、生活状況をよく知るご家族や友人の方の付き添いをお願い致します。

初診は

月曜日の**予約制**

になります。